



新しい年が明けました。

昨年5月にオープンしたばかりの当クリニックも多くの皆様がたに支えられ、なんとか順調にここまで来ることができました。今年は気持ちも新たにより良いクリニック作りに励んでいく所存ですので、より一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

クリニック通信第3号がようやく出来上がりましたのでお送りいたします。

院長ブログより

医者の七つ道具のひとつといえばまず聴診器でしょう。何科の医師であっても、聴診器を使ったことのない医者はいないと思います。



かつて東京のある個人病院に勤務していた時はまさに眼が回るほど忙しく、外来患者も午前中だけで100人近くもいました。そのものすごい数をこなすために診察もまさにオートメーションさながらで、診察室の前室に呼ばれた患者さんは男女ともまず上半身をめくって胸を出し、看護師さんがそのままの状態で私の前に座らせる、そして話しをする間もなくすぐに聴診器を当てるという具合で、個人的には疑問を持っていましたが、限られた時間にこれだけの人数をこなさなければならないので仕方ありませんでした。ところが院長の外来患者は150人とさらに多く、今だからいえますが聴診器の当て方もおそらくたった5秒ほど、「診察」のスピードは私の外来どころではありませんでした。それでもその病院は個人病院としては東日本随一といわれるほど患者数が多く、地元の人たち

に不思議なぐらい信頼されていました。

聴診器というのはただ体内の音を聞く医療器具としての役割だけではなく、医師と患者のスキンシップを深める重要な役割をしていると言わざるを得ません。私は循環器の専門なので診察に聴診器を必要とすることは他科の医師よりずっと多いと思いますが、批判を恐れずに言ってしまえば、聴診器を当てることによって得られる情報など限られています。今や超音波やCT、MRIといった高度な医療機器が発達し、聴診器無用論まであるほどです。しかし機械では病気は発見できても病人の心を癒すことは出来ません。極端なことを言えば、聴診器を当てることはある意味で儀式であってもいいのです。患者さんに聴診器を心をこめて当てて心臓の鼓動や息使いを聞く、それが彼らの安心感と医師に対する信頼感を生む、こういった過程こそが医の原点なのだと思います。



「手当て」ということばの語源は、人は痛いところに自然に手を当てるということから来ているそうです。つまり人は当ててもらった手を通して暖かい「気」が送られることによって癒されるわけです。聴診器も実は患者さんの情報を知るためだけではなく、管を通して「心」を通わせあい、こちらの「気」を送る手立てとしての役割を果たしているとはいえないでしょうか。



「手当て」ということばの語源は、人は痛いところに自然に手を当てるということから来ているそうです。つまり人は当ててもらった手を通して暖かい「気」が送られることによって癒されるわけです。聴診器も実は患者さんの情報を知るためだけではなく、管を通して「心」を通わせあい、こちらの「気」を送る手立てとしての役割を果たしているとはいえないでしょうか。

聴診器のはなし ~その目的ってなに?~

聴診器ではいったい何を聴いているのでしょうか？ 胸部を聴診する場合に聞こえるのは主に心臓と肺の音です。心臓ではまず脈拍の乱れ（不整脈）がないかどうかを聴きます。また拍動により血液を血管に送り出す心臓には、血液の逆流を防止する4種類の弁があります。この弁が傷んで逆流が起こったり、逆に流れにくくなると特有の雑音が聞こえます。心不全など他の病気でも特徴的な音が聞こえることがあります。

肺や気管は空気が入り出るので、病気がおこるとそれぞれに特有の音がします。たとえば気管支ぜんそくでは気管に炎症が起こって狭くなるため、特に息を吐いた時に笛を吹いたような高い音が聞こえます。

また、腹部では腸のぜん動（動き方）が判り、くびや足の付け根の血管では動脈硬化などの存在が判ります。医学がこれだけ発展しても、聴診器は非常に便利な診察器具であり、その使い方に習熟するのは医療に携わる者の責務だといっても過言ではありません。

健康トピックス 長引く咳に注意！

風邪（かぜ）がはやっています。風邪の症状といえばご存知の通り発熱、のどの痛み、咳や痰、鼻詰まりなどで、通常は薬を飲んで数日安静にしていればたいてい治ってしまいます。

しかし、ほとんどの症状が治っても咳や微熱だけがいつまでも続いている場合や、風邪にしては咳以外の症状があまりにも少なく咳だけがひどい場合は要注意です。

長引く咳の原因には、風邪の後遺症としての咳以外にも、咳喘息、アトピー咳嗽、胃食道逆流、後鼻漏、非定型肺炎（百日咳、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎など）、結核、薬の副作用など様々なものがあります。

名前は聞きなれなくともこれらは決して珍しいものではなく、またいずれも単なる鎮咳剤（咳止め）だけでは効きません。したがって3週間以上続くような咳の場合は、必ず診察を受け、原因に応じた治療を受ける必要があります。治療がよく奏功すると嘘のようになってしまうことも多いです。当院では長引く咳の患者さんに対して漢方や抗生物質なども含め、可能な手段全てを駆使して集中的に治療するようにしています。



今月の話題 節分の豆知識

正月に続く日本の代表的行事といえば節分（せつぶん）ですね。元来節分とは「季節を分ける」という意味が語源です。節分の日には炒った豆を年神に供えた後、その時に蒔かれた豆を自分の年の数だけ食べ、一年の無病息災を願う風習があります。豆（穀物 + 果物）には「邪気をはらう霊力」があると考えられており、豆を蒔く事で豆の霊力により邪気を払い福を呼び込むと考えたのでしょう。



そして節分のもうひとつのイベントといえば恵方巻（えほうまき）ですね。もともと関西の発祥である恵方巻は、江戸時代の終わりから明治時代の商人により商売繁盛の祈願として食べられたといわれています。その後いったん廃れましたが、オイルショック以後、海苔問屋が需要拡大を狙って節分に海苔イベントを催したのが始まりです。

今年の恵方は東北東やや右です。みんなで豆まきをして恵方巻を食べて今年一年の無病息災と繁盛を願いましょう！



事務スタッフのお勧めシリーズ セロリのつくだ煮

<材料>

セロリ ...葉の部分1本分
醤油 ...大さじ1杯
みりん ...大さじ1杯
さとう ...少々（好みで）
すりゴマ...適量
カツオ節...適量

1. セロリはあらみじん切りにする
2. フライパンにサラダ油を少々入れ、セロリを炒める
3. しんなりしたらみりん、醤油を入れさらに炒める。
好みで砂糖少々を加え味を調える。
4. 水分がなくなる前にかつお節とすりごまを加えて
出来上がり

* 冷蔵庫で1週間くらい持ちます！！



おおかど循環器科クリニック

循環器科・呼吸器科・外科

院長

大加戸彰彦

〒651-0055 神戸市中央区熊内橋通7-1-13 神戸芸術センタービル内医療モール4F

TEL 078-855-9151 FAX 078-251-5033

e-mail aki-ohkado@ohkado-heart-clinic.com

HP <http://www.ohkado-heart-clinic.com>

診察時間 午前9～12時・午後4～7時 木・土曜日午後、日祝日は休診